

今週の News

1. 日本都市計画家協会賞の報告
2. まちづくり大賞受賞作品の概要
3. 2021 年度認定都市プランナー審査結果等
4. JANPIA 活動報告・交流セミナーの開催
5. 認定 NPO 及び会員制度に関する検討について
6. 195 回理事会(12/15)の報告

■日本都市計画家協会賞の報告

第 14 回日本都市計画家協会賞の審査会が 12 月 4 日(土)に開催されました。13 時半よりノミネートされている 12 団体がオンラインで参加するプレゼンテーションが行われ、その後 17 時より審査会が行われました。審査会における審査結果が 12 月 15 日の理事会で報告・承認され、第 14 回日本都市計画家協会賞は以下の様に決定しました。

◇日本まちづくり大賞

- ・ まちが育て、まちを育てる。まちの小さな「みんなの図書館」/一般社団法人トリナス

◇優秀まちづくり賞

- ・ 防災とアートをつなげるまちづくりのプラットフォーム/特定非営利活動法人 向島学会
- ・ 千住地域の空き家利活用と古民家複合施設「せんつく」/千住 Public Network
- ・ もしわたしが「株式会社流山市」の人事部長だったら/株式会社 WaCreation/machimin
- ・ 多世代が交流できる「公園 団地」をめざして /小山田桜台まちづくり協議会
- ・ すみだの魅力と安心を包む「防災観光ふろしき」/ NPO 法人燃えない壊れないまち・すみだ支援隊

◇支部賞

- ・ 地域のきっかけ創り～Makura showcase 地域を映し出すショーケースに/ team Makurashowcase
- ・ “まち保育”の提唱を通じた子育てをまちづくりと捉える啓発・推進活動/まち保育研究会
- ・ まちが育て、まちを育てる。まちの小さな「みんなの図書館」/一般社団法人トリナス

◇業績賞

- ・ 「里山まるごと 花と雑木による 木漏れ日計画」/ 「鹿野の風」プロジェクト
- ・ 防災まちづくり意識の普及啓発活動 一写真展「被災から 10 年—UIFA JAPON の見た岩泉町復興への歩み」の巡回を通して/ UIFA JAPON

◇奨励賞

- ・ 鉄道高架下を活用したまちづくりプロジェクト/阪急電鉄株式会社
- ・ 住み続けられる坂と階段の緑豊かなまちを目指して/ 玉川学園地区まちづくりの会

◆まちづくり大賞受賞作品の概要

—「まちが育て、まちを育てる。まちの小さな「みんなの図書館」/一般社団法人トリナス」—

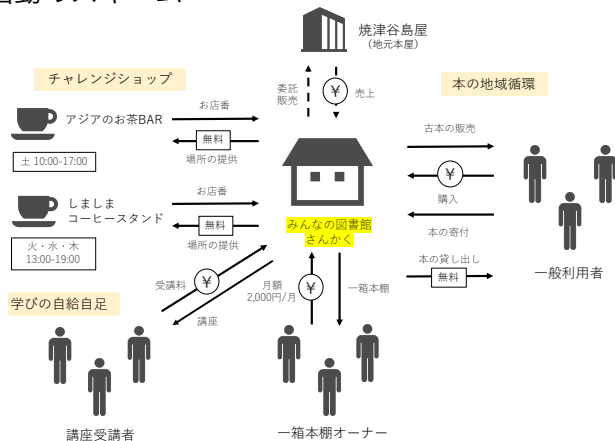
◇活動の概要

静岡県焼津市のシャッター通り化が進む駅前通り商店街の空き店舗を活用し、完全民営・黒字経営の私設図書館「みんなの図書館さんかく」を開設した。「さんかく」の名前は「参画」に着想を得ており、図書館の開設プロセスから運営に至るまで様々な人の参画によって運営が成り立っている。「私設公共空間づくり」の社会実験と位置付け、行政からの補助金には頼らない自律的な経営を行なっているのが特徴である。

◇みんなの図書館さんかくとは

- ・ みんなの図書館さんかくは、商店街内の空き物件を活用し、2020 年 3 月に開館した。
- ・ 「さんかく」の名の通り、みんなの参画によって運営される図書館を目指し、「一箱本棚オーナー制度」を導入した国内初の私設図書館で、完全民営・黒字経営を実現している。
- ・ チャレンジショップを併設し、無料でスペース貸しをする代わりに本の貸し出し業務を負担してもらうことで、人件費がかからない運営を行っている。また、お店番は一箱本棚オーナーの権利であり、本棚オーナーが自主的にお店番をすることもある。

◇活動のスキーム



◇活動の成果、波及効果

開館から 1 年で累計利用者約 2,800 人の賑わいを生み出す拠点に成長した。50 人以上の本棚オーナー、曜日替わりのチャレンジショップ出店者が定期的に「さんかく」に通うことで、まちづくりのプレイヤーが増えた。商店街では 5 年で 10 店舗以上の新規開店があった。

「みんなの図書館さんかく」開館後約 1 年半の間に一箱本棚オーナー制度を導入した姉妹館が全国 18 館(開館準備中のものも含む)に広がった。

焼津の事例を受けて、沼津信用金庫の支店跡地に私設図書館を開設したい旨の相談を受け、2021 年 4 月には、トリナスが運営する 2 館目の「みんなの図書館さんかく沼津」が開館した。

■2021 年度認定都市プランナー審査結果等

◆認定都市プランナー等認定審査結果

2021 年度認定都市プランナーの口頭審査は 10 月 9・10 日、23・24 日の 4 日、書類審査合格者 71 名を対象に実施、その結果をもとに 11 月 25 日の評価委員会において最終的な合否判定を行い 54 名が合格した。

認定准都市プランナーについては 6 月 4 日の評価委員会において書類審査が行われ、応募者 24 人のうち 22 人が合格、登録済となっている。

専門分野	認定都市プランナー (合格者数：名)	認定准都市プランナー (登録者数：名)
総合計画	10	0
土地利用計画	0	2
市街地整備計画	14	6
交通計画	7	0
公園緑地計画	4	1
防災	2	0
景観・都市デザイン	4	3
環境・エネルギー	0	0
住まい・コミュニティデザイン	5	0
健康・福祉	0	0
都市・地域経営	6	0
プロジェクトマネジメント・エリアマネジメント	2	1
分野なし	—	9
合計	54	22

◆マスター都市プランナー

2021 年度マスター都市プランナーとして、日本都市計画学会から推薦があった古池弘隆氏（宇都宮大学名誉教授）が承認を受けている。

◆受験対象者の拡大に関する検討

(1) 受験者拡大検討の目的

認定都市プランナーを受験できる者は、2019 年度までは都市計画 4 団体に所属する民間機関に属する者であったが、2020 年度より制度を改定し 4 団体に所属しなくとも認定都市プランナー 2 名の推薦があれば受験可能となった。

一方、現在の規定では対象は「民間の都市プランナー」とされており、国や地方公共団体に所属する都市計画行政を担っている専門家及び大学等に所属する学識研究者としての専門家などは除外されている。しかし、都市計画において取り組むべきテーマは、ますます多様化、高度化しており、産学官民がそれぞれの職能を生かして連携して取り組んでいくことが求められる。このため、民間機関に属する者以外でも受験が可能な制度としていくための仕組みについて検討を行うものとする。

ただし、拡大することを前提とする検討ではなく、検討の結果、拡大することが不適切であるという結論も含むものとする。

(2) 主な論点

- 行政職及び学識者にとって「実務」及び「実務実績」とは何か？
- 現行の実務経験年数 15 年以上は国の資格登録から変更できないことから、行政職や学識者の 15 年の経験年数をどう捉えるか？
- 行政職や学識者が受験する場合の専門分野の選択をどうするか？
- 推薦制度との対応をどうするか？
- なお、現行では会社法の会社に属していない個人経営の人たちの受験資格がないので、これを改める。

■JANPIA 活動報告・交流セミナーの開催

JSURP が、JANPIA の新型コロナウイルス対応緊急支援助成事業として実施している「外国人と共に暮らし支え合う地域社会の形成～支え合いを豊かさにつなげるまちづくり～」の活動報告・交流セミナーを実施します。

どなたでも参加できます。

- 日 時：令和 4 年 1 月 29 日（土）
13 時 30 分～16 時 30 分
- 形 式：リアル&オンラインのハイブリッド
- 参加費：無料
- 会 場：axle 御茶ノ水
- 申 込：下記 URL(近日公開)

<https://jsurpjaniaevent202201.peatix.com>

■認定 NPO 及び会員制度に関する検討について

JSURP は認定 NPO となっており、寄付の優遇制度などの特典が与えられています。認定 NPO を維持するためには年間平均で 100 名の支援者を必要（PST：パブリックサポートテスト）としています。認定を得た当初は賛助会員をこの PST 対応として位置付けていましたが、近年はカレッジ等における賛助会員特典の付与等により PST 対応から除外となっています。このため、現状のまま推移すると PST 対応が厳しく認定 NPO の維持も困難な状況になります。

現在、会員制度の改革を検討しており、こうした問題も併せて検討中です。11 月に開催された第 194 回理事会ではこうした点について審議が行われ、当面認定 NPO の維持を重視することとし、賛助会員特典に関しては元に戻すことが承認されました。また、今後、会員制度の中期的改革検討の中で、現在の正会員一賛助会員制度の改善について一定の方向を提示・審議する予定です。

■195 回理事会(12/15)の報告

12 月 15 日に第 195 回理事会が協会事務所/ウェブのハイブリッド方式にて開催され、委任を含め 26 名が出席し会は成立しました。

主要な議事は、ビジョン・会員制度検討の中間報告、全国まちづくり会議 2020-2021 の報告と 2022 年度開催について、認定都市プランナー審査結果報告及び受験対象者拡大検討について、JANPIA 事業交流セミナー企画、日本都市計画家協会賞等の結果報告、福岡支部活動報告などの審議・報告が行われました。次回理事会は 1 月 21 日に行われます。

■1 月の予定

- ① 1 月 21 日（金）196 回理事会
- ② 1 月 29 日（土）JANPIA 交流セミナー
※JSURP 年末年始の休暇
12 月 25 日（土）～1 月 4 日（火）

2021 年の JSURP News は今号でめでたです。一年間ありがとうございました。来たる 2022 年が皆様にとって良い年であるように。